

## 治療した部位と治療方法

### 1 問診診察結果 (ダンプカー木製)

- (1) 油圧シリンダーもどきの破損。〔擬き：それに似て非なるものをあらわす〕  
2本あるはずのところ1本のみ。割れてテープで巻いている。穴の縁も欠けている。(図-1)
- (2) 荷台後部の右側支え部品が外れていて無くなっている。(図-2)
- (3) 左バックミラーの破損。付いて無かった。(図-3)



図-1 油圧シリンダーの破損  
シリンダー2本のところ1本のみ

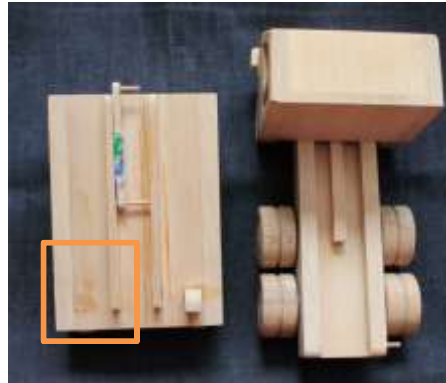


図-2 左・シリンダーの破損  
荷台後部右側支え部品無し



図-3 左バックミラー無し

### 2 治療の方法

- (1) まず油圧シリンダー<sup>もどき</sup>擬きを作成した。




図-4



図-5 動きを滑らかにする

- 図-1の割れてテープで巻いている部品(下方の穴の縁も欠けている)と同じ部品を2個作った。材料は丈夫な乾燥した竹を板状にして作った。
- 図-4の下方にある黄色いリングは、内側に寄らないために自作した。  
図-1下方の穴は図-4の下方の黄色いリングと共に横に入っている軸よりも大きな穴になっていて、荷台が上下するときには、角度が変わる構造である。

- また、図-4下方の油圧シリンダー<sup>もどき</sup>擬きの端を若干長くして穴の縁を若干広くして丈夫にした。このため、動きを滑らかにするため、掘り込みを少し入れた。(図-5)

- (2) 次に、荷台後部の右側支え部品(白○)が外れていて無かったので、ドクターが自作した。(図-6)
  - これも、ボンド接着では、外れる可能性が高いので、のように、ボンドと木ネジで固定して丈夫にした、

これで、少々のことでは外れないでしょう。



図-6 荷台後部の右側支え部品

(3) 図-7は、油圧シリンダー<sup>もど</sup>擬きを組み込んだものである。

- 白色の枠内の小さな丸い黒いものは、油圧シリンダー<sup>もど</sup>擬きが、滑らかに動くために角材の下に、図-4 上部の横軸がスライドするだけの間隔を作る台木を挟みボンドで貼り付けているが、外れそうであったため、木ネジとボンドで丈夫に固定した。
- 荷台は上下に、滑らかに作動するようになった。

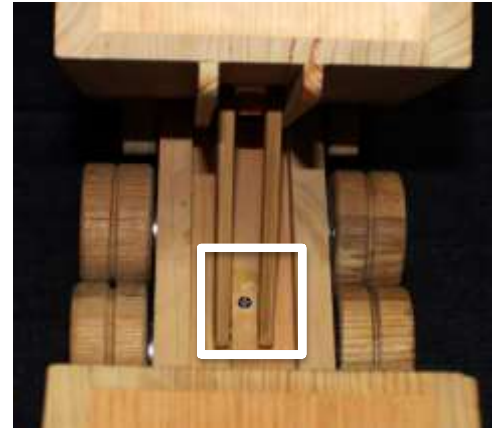


図-7 シリンダー<sup>もど</sup>擬きの組み込み

(4) 最後に左のバックミラーも無くなっていたので手作りした。



図-8 正面から



図-9 左側面からバックミラーと荷台

- バックミラーも丈夫な乾燥した竹を板状にしたものから削って作成した。
- 荷台後部右の黒「点」は、図-6 の荷台後部右側支え部品(白○)を丈夫に取り付けたネジの頭です。



### 3 ドクターからのアドバイス

材料が、木と竹からできておりますので、壊れやすいですから、乱暴にあつかわないようにしましょう。買ったときの造りよりは、丈夫な材料でその上補強もしてはおります。大切にしながら遊びましょう。

お渡し予定日：平成29年02月11日

担当ドクター：谷 春 雄